

平成 25 年 3 月 14 日

会 員 各 位

構 造 懇 話 会
会 長 森 川 英 典

第 457 回 構造懇話会 平成 24 年度 例会のご案内

構造懇話会の運営に際しまして、日頃よりご支援賜り、誠に有難うございます。
標記の平成 24 年度 例会を下記のとおり開催いたします。
つきましては、多数ご出席下さいますようご案内申し上げます。

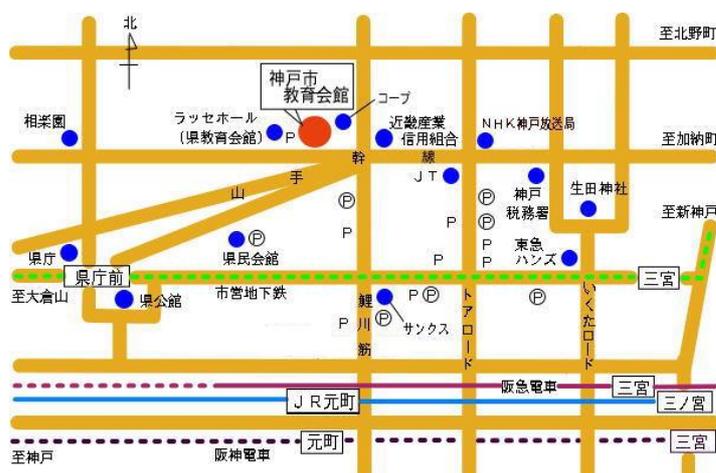
記

1. 日 時 平成 25 年 4 月 16 日 (火) 13:30～16:30
2. 場 所 **神戸市教育会館 404号室**
神戸市中央区中山手通 4-10-5 TEL 078-222-4111
3. 議 題
 - 1) 運営委員会 13:30～14:25
休憩 14:25～14:30
 - 2) 例会 ①部 14:30～15:25
『高強度 P C ストランドの概要と P C 橋への適用について』
住友電工スチールワイヤー(株) 星野 康弘 氏
休憩 15:25～15:35
 - 3) 例会 ②部 15:35～16:30
『都市高速道路における鋼床版疲労損傷対策』
片山ストラテック(株) 上野 康雄 氏

[連絡先] 〒556-0011 大阪市浪速区難波中 2 丁目 10 番 70 号
高田機工株式会社 小林 雄紀

TEL : 06-6649-5170 / FAX : 06-6649-2439 / e-mail : t_kobayashi@takadakiko.co.jp

[案内図]



第 457 回 構造懇話会 例会での報告概要

1. 『高強度PCストランドの概要とPC橋への適用について』

①報告者

住友電工スチールワイヤー株式会社 PC技術部システム技術グループ
グループ長 星野 康弘 氏

②報告内容

高強度PC鋼材の使用は、ケーブルの大容量化を少ないPC鋼材本数で実現できることや高強度コンクリートとの組み合わせによってより一層の部材の軽量化が実現できることなどの利点を有している。

近年PC橋で適用され始めた高強度PCストランドについてその概要を説明し、実際にPC橋へ適用するに向けて行った実験や、適用事例を紹介する。

2. 『都市高速道路における鋼床版疲労損傷対策』

①報告者

片山ストラテック株式会社 技術研究所 上野 康雄 氏

②報告内容

都市高速道路の高架橋は、供用開始から数十年以上経過しており、鋼床版橋梁に多くの疲労損傷が発見されている。鋼床版デッキプレートとUリブ溶接部のビードを貫通する疲労き裂では、当て板補強あるいは溶接補修が採用されている。

溶接補修では、過去の類似工事の施工実績から被覆アーク溶接が採用されてきたが、それよりも高能率かつ高品質の炭酸ガスアーク溶接を適用するべく、工場での溶接条件を確立後、現地振動計測、現地溶接施工試験を経て、実際の疲労き裂への溶接補修を行った。

ここでは、鋼床版に発生したビード貫通き裂に適用した炭酸ガスアーク溶接の補修を中心に、代表的な当て板補強についても話題提供させていただきます。